

日本臨床検査専門医会

平成 23 年度第三回全国幹事会議事録

平成 23 年 11 月 17 日

日本臨床検査専門医会 平成 23 年度第三回全国幹事会議事録

開催日時：平成 23 年 11 月 17 日（木）12 時 30 分～13 時 30 分

開催場所：岡山コンベンションセンター 2 階 201 会議室

出席者：渡辺 清明会長、佐守 友博副会長、渡邊 卓副会長、土屋 達行、
村田 満、矢富 裕、山田 俊幸、東條 尚子各常任幹事、
安東由喜雄、尾崎由基男、康 東天、木村 聡、熊坂 一成、
幸村 近、小柴 賢洋、諏訪部 章、田窪 孝行、前川 真人、
三井田 孝、各全国幹事、高木 康、水口 國雄各監事

欠席者：小田桐恵美、北島 勲、三家登喜夫、日野田裕治、船渡 忠男、
松尾 収二、満田 年宏、宮澤 幸久、盛田 俊介各全国幹事

事務局：藤本 梨恵 (敬称略)

定刻、渡辺 清明会長は議長席につき、本年末で会長としての任期が満了する旨挨拶があり、これまでの活動に際しての各役員、幹事の協力に対し謝辞が述べられた。挨拶の後開会を宣し、議案の審議に入った。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

渡辺 清明議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 安東由喜雄、三井田 孝各全国幹事

第二号議案 平成 24・25 年度会長・監事選挙の結果について

議長は、会則第 16 条に従い、平成 24・25 年度の会長および監事選挙の結果を東條庶務・会計幹事に発表させ、満場一致をもってこれを承認した。

記

会長 佐守 友博
監事 土屋 達行
高橋 伯夫 (敬称略)

以上

渡辺 清明会長より、現在の会則では、選挙結果を全国幹事会ならびに総会で審議することになっている。選挙結果は審議ではなく報告すべきものであり、

会則改定が望ましい。本件は佐守次期会長に一任したいと説明があった。

第三号議案 平成24年度予算案について

議長は、平成24年度の予算案について、その詳細を東條庶務・会計幹事に説明させた。収入は、会員会費を100%徴収見込みとした。GLMセミナーを実施しないため日本臨床検査医学会からの補助金はなくなった。支出では、要覧印刷代を計上し、通信費を減額したと説明があった後、以上を議場に諮った。

高木康監事より、通信費の削減根拠について質問があった。これに対し、東條庶務・会計幹事より、事務局では経費削減を心がけており、平成23年度通信費の執行状況から減額可能と判断したと説明があった。

木村聡全国幹事より、要覧は、来年度日本臨床検査医学会の会員名簿の発刊と重なる。両方に属する会員が多いため、発刊時期はずらした方がよいとの意見があった。要覧の発刊は隔年とするかを審議した結果、専門医会の要覧は情報量が多く使いやすいという意見が多く、従来通り隔年の発刊が承認された。次期発刊について議場に諮ったところ、来年度は日本臨床検査医学会の会員名簿と重なるため、要覧発刊を平成25年度とし、要覧に予定した予算は予備費とすることで全員異議なく承認可決した。なお、予算案については、本議事録の末尾に添付する（資料1）。

第四号議案 名誉会員、有効会員の推薦について

議長は、平成24年度の名誉会員、有効会員の推薦について、その詳細を土屋資格審査・会則改定委員長に説明させた上、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

名誉会員の推薦 森 三樹雄
有功会員の推薦 中島 伸夫（敬称略）

報告事項

1. 平成23年度中間会計報告

東條 尚子庶務・会計幹事より、平成23年度中間会計報告（1月1日から9月30日まで）について説明があった。収入においては会員会費の納入率が75%と低い。また、今年度よりGLMセミナーを中止したため日本臨床検査医学会からの補助金はなくなった。支出では、振興セミナーで国外から講師を招聘したため旅費相当分が予算額を超えたと説明があった。なお、中間決算報告については、本議事録の末尾に添付する（資料2）。

2. 日本臨床検査専門医会 講演会について

議長は、東條 尚子庶務・会計幹事に、第 39 回日本臨床検査専門医会総会における講演会の講演内容について報告させた。

記

日時：平成 23 年 11 月 17 日（木）午後 2 時 10 分から 3 時

場所：岡山コンベンションセンター 2 階 レセプションホール

講演内容：日本における専門医制度の現状と今後の動向

座長：渡邊 卓教授（杏林大学病理系専攻臨床検査医学分野）

演者：橋本 信也先生（医療教育情報センター理事長）

以上

3. 各種委員会ならびにワーキンググループ報告

① 情報・出版委員会

矢富 裕情報・出版委員長より、LabCP、JACLaP News、WIRE は順調に発刊していると説明があった。

JACLaP News の「会員の声」はベテラン専門医の協力により原稿収集は好転している。若手医師は依頼に応じてくれない場合が多い。若手の声は大事であり、所属の教授あるいは部長を通じて原稿依頼をすれば執筆率の向上が望まれるので、この方法をとりたい。通常原稿依頼法とは異なるため、幹事会で検討いただきたいと説明があった。議場に諮ったところ全員異議なく承認された。

② 教育研修委員会

山田 俊幸委員長より、平成 24 年度の活動予定として、生涯教育講演会ならびに教育セミナー（案）について報告があった。生涯教育講演会は第 22 回春季大会に連動して懇親会の前に開催する。講義形式の教育セミナーは、教育研修委員会が主催し、都心で講義室を借用する形態にする。また、会員数増加方策 WG の成果でもあった、試験用ではない、会員を対象としたグループ学習形式のセミナー（Advanced セミナー（仮称））の是非につき、明後日の委員会で審議の後、アンケート調査を実施し、内容をつめていきたいと報告があった。

記

第2回生涯教育講演会

開催日時：平成24年3月23日（金） 2時間

開催場所：山口大学医学部第三講義室（予定）

《プログラム》

1) 「震災・原発事故と対応（仮題）」

福島県立医科大学感染制御・臨床検査医学 今福 裕司先生

2) 「病理検査のリスクマネージメントー乳癌診断を中心に（仮題）」

日本医科大学附属病院病理部 土屋 眞一先生

第80回教育セミナー(講義形式セミナー)

開催日時:平成24年4月29日(日)(予定)

開催場所:東京医科歯科大学

第81回教育セミナー(実技形式セミナー)

開催日時:平成24年5月20日(日)(予定)

開催場所:自治医科大学

③ 資格審査・会則改定委員会

土屋 達行委員長より、特になしと報告があった。

④ 渉外委員会

佐守 友博委員長より、平成23年7月22日に実施した第28回臨床検査振興セミナーについて報告があった。

臨床検査振興協議会 広報担当理事(佐守 友博委員長が兼務)から、「臨床検査の日」の啓発活動として行われた、毎日放送ラジオ「秋まつり2011」イベント協賛(11月3日)、中野法人会「セーフティ教室&講演会」協賛(11月5日)、「臨床検査の日記念講演会」(11月11日)に、臨床検査専門医会から多数協力ならびに参加が得られたことに対し、謝辞が述べられた。

⑤ 保険点数委員会

渡辺 清明委員長より、平成24年度診療報酬改定にむけ、内保連を通じて以下の提案書を厚労省に提出し、9月8日(木)に厚労省保険局医療課のヒアリングを受け、主要項目の説明をした。今後、さらに増点に向け活動を続けていくと報告があった。

記

平成24年度診療報酬改定 提案項目

1. 生理機能検査管理加算(未収載項目)
2. 血液採取(既収載項目)
3. 末梢血液像(既収載項目)

4. 尿沈渣顕微鏡検査およびフローサイトメトリー法による尿中有形成分測定（既記載項目）
5. 染色体検査（既記載項目）
6. 悪性腫瘍遺伝子検査（既記載項目）
7. 時間外緊急院内管理加算（既記載項目）
8. 血液細胞核酸増幅同検査（既記載項目）
9. 免疫関連遺伝子再構成（既記載項目）
10. UDP グルクロン酸転移酵素遺伝子多型（既記載項目）
11. WT 1 mRNA 核酸増幅検査
12. サイトケラチン（CK）19mRNA（既記載項目）

以上

東條 尚子庶務・会計幹事から、内保連生体検査 WG の提案書について以下の報告があった。本会をはじめとする加盟学会の協力を得て生体検査の有用性調査ならびに、特に有用性の高い項目についてコスト調査（呼吸機能検査、心臓カテーテル検査、睡眠時無呼吸検査、トレッドミル・自転車エルゴメータなど）が行われた。それを踏まえて増点要求を取りまとめ、内保連からの提案書として、厚労省保険局医療課に提出した。

⑥ 専門医数増加方策検討 WG

木村 聡 WG 委員長より、学会ホームページに「活躍する検査医（女医さんなど）」の事例を掲載する計画の説明があった。11月19日予定のWG会議で具体的な内容を検討する。実際の掲載内容は情報出版委員会でチェックした後、アップロードは事務局で行うことで承認された。

専門医試験の練習問題を扱った出版物については日本臨床検査医学会で検討していただくよう、次回の専門医・管理医審議会に提案することで承認された。

⑦ 専門医広告啓発促進 WG

村田 満委員長より、本幹事会の後、日本臨床検査医学会の広報委員会と合同で開催する委員会で今後の方針を決める予定である旨の説明があった。

4. 第22回春季大会について

日野田 裕治全国幹事欠席のため、代わりに東條庶務会計幹事から開催日程ならびにプログラム案の報告があった。

記

第22回日本臨床検査専門医会春季大会

大会長 日野田裕治 教授（山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学分野）

開催日時：平成 24 年 3 月 23 日（金）、24 日（土）

開催場所：山口大学医学部第三講義室、国際ホテル宇部
シンポジウム（予定）

1. 臨床検査専門医育成のための専門医教育のありかた
2. 遺伝子検査の今後

以上

5. 第 23 回春季大会について

渡邊 卓副会長（大会長）から、第 23 回春季大会について、会場は東京都内ではなく、熱海（案）とし、勉強のみならず、情報交換や会員交流の場も設けた大会にしたいとの提案があり、全員異議なく承認された。

6. 平成23年度第一回第二回臨床検査専門医管理医審議会報告

東條 尚子庶務・会計幹事より、平成 23 年 6 月 18 日に開催された第一回、8 月 19 日に開催された第二回日本臨床検査医学会 臨床検査専門医審議会において、以下のように規定が改定される旨の報告があった。

・認定更新制度規定が改定され、日本臨床検査医学会または日本臨床検査専門医会が主催するリスクマネジメントに関する講習会の出席は 5 点となる。
なお、本年 6 月に開催された第一回生涯教育講演会は改定前のため 10 点である。

・臨床検査管理医規定が改定され、臨床検査管理医制度の更新規定の関連学会に「日本臨床検査専門医会」が含まれていなかったため、追加される。なお、平成 23 年 3 月 27 日の理事会に遡っての改定となった。

また、日本臨床検査専門医会から、臨床検査専門医認定試験の実技試験問題のより良い事後評価方法を検討するよう要望したことに対して、今後、試験問題の事後評価につき試験委員会で検討することになったと報告があった。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 23 年 12 月 12 日

安 東 由 喜 雄 印

平成 23 年 12 月 26 日

三 井 田 孝 印